

山口情報芸術センター [YCAM]

小泉明郎

縛られたプロメテウス

2021年10月23日(土)、24日(日) 各日10回上演(詳細は4ページ目をご確認ください)
山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB小泉明郎による話題作を関西以西で初上演
VR(仮想現実)とギリシア悲劇の融合が描き出す「ディストピア」と「ユートピア」

山口情報芸術センター [YCAM] では、アーティストの小泉明郎(こいずみ・めいろ)によるVR(バーチャル・リアリティ/仮想現実)を用いた体験型の演劇作品《縛られたプロメテウス》の公演を開催します。

小泉はこれまで、国家・共同体と個人の関係、また人間の身体と感情の関係について、現実と虚構を織り交ぜたアプローチで作品を発表してきました。演劇、音声、映像など複数の手法を巧みに組み合わせた作品は、国際的な芸術祭をはじめとする現代美術や演劇の文脈でも高い評価を受けています。

本作は、古代ギリシアの詩人アイスキュロスによる悲劇「縛られたプロメテウス」が原作となっています。未来を予見する能力を持ちながらも、全知全能の神・ゼウスから火を盗み、永劫の苦しみを味わうプロメテウス。本作の観客は、この神話的時間から発想された近未来の中で、自分とは異なる「他者」の感覚や感情をVRを通じて追体験していきます。人間の知覚を拡張する現代の技術が古典的名作と結びつくことで生み出される本作の体験を通じて、未来におけるテクノロジーや「生」のあり方について深く考えるきっかけとなるでしょう。この機会にぜひご覧ください。



©あいちトリエンナーレ2019 撮影：佐藤駿

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課 広報担当
TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 www.ycam.jp
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

パフォーミング・アーツを更新する——挑戦的な表現に注目してきたYCAM



マシュマロ・レーザー・フィースト『もしも、森のいきものになったら』(2016年)
撮影：山中慎太郎 (Qsyumi)

YCAMにおける、展覧会や映画上映と並ぶ活動の柱が、ダンスや演劇などのパフォーミング・アーツ作品の上演です。パフォーミング・アーツというジャンルを更新するような挑戦的な表現、特にメディア・テクノロジーを通じて舞台という空間、そして身体のある方を揺るがすような表現に注目し、開館以来、アーティストと協働しながらメディア・テクノロジーを応用した新作の制作をおこなうとともに、国内外の優れた作品を紹介してきました。

近年では、マシュマロ・レーザー・フィーストによる人間とは違う生物の視覚を追体験できるVR作品《もしも、森のいきものになったら》(2016年上演)や、アント・ハンプトン+ティム・エツェルスによる本を読むことに驚きと奥深さを見せる、図書館を会場にした体験型の演劇作品《The Quiet Volume (ザ・クワイエット・ボリューム)》(2014年上演)など、国内ではなかなか見ることのできない貴重かつ領域横断的な作品を上演しました。

今回上演する、アーティスト・小泉明郎による『縛られたプロメテウス』は、VRを用いた演劇作品です。「あいちトリエンナーレ2019」からの委嘱を受けて制作された本作は、公開とともに大きな反響を受け、2020年にはシアター commons のプログラムでも上演、2021年には文化庁メディア芸術祭アート部門で大賞を受賞するなど高い評価を受けました。そして今回の山口公演が関西以西では初の上演となります。

■ 小泉明郎 (こいずみ・めいろう)



1976年群馬県生まれ。国家・共同体と個人の関係、人間の身体と感情の関係について、現実と虚構を織り交ぜた実験的映像やパフォーマンスで探求している。これまでテート・モダンのBMWテート・ライブや上海ビエンナーレ、シャルジャビエンナーレ等、多数の国際展等に参加。個展としては「Projects 99: Meiro Koizumi」(ニューヨーク近代美術館、2013)、「捕われた声は静寂の夢を見る」(アーツ前橋、2015)、「帝国は今日も歌う」(Vacant、2017)、「Battlelands」(ペレス美術館、マイアミ、アメリカ合衆国、2018)等を開催。VR技術を使った作品では『サクリファイス』(MMCAソウル、韓国、2018)、『縛られたプロメテウス』(あいちトリエンナーレ2019)がある。2021年『縛られたプロメテウス』で第24回文化庁メディア芸術祭アート部門で大賞を受賞。カーディフ国立博物館 Artes Mundi 受賞。

VR演劇が紡ぐ「他者」の物語



© Meiro Koizumi

■ アイスキュロス

古代ギリシアの悲劇詩人。ギリシアの首都アテネ近郊のエレウシス生まれ。ソポクレス、エウリピデスとならんで三大悲劇詩人の1人とされる。ペルシア戦争（紀元前5世紀前半）の際、兵士としてマラトンの決戦に参加している。約90作を手がけたとされているが、現在に残っているのはわずか7作品で、代表作には《オレスティア三部作》《ペルシア人》《縛られたプロメテウス》などがある。《縛られたプロメテウス》は、現存しない《解放されるプロメテウス》《火をもたらすプロメテウス》と続く三部作のプロローグにあたりとされる。ギリシア神話を題材に、正義とは何か、その守護者としての神の観念、人間に訪れる栄光と破滅、その葛藤や悲劇などを描く。

本作は、古代ギリシアで三大悲劇詩人と謳われたアイスキュロス（紀元前525年～紀元前456年）の悲劇「縛られたプロメテウス」を原作としています。原作では、男神プロメテウスは主神ゼウスから火を盗み、人間へと与えたことでゼウスの怒りを買ひ、山の頂に縛りつけられ永遠の苦しみを受ける罰に処されます。作中の一節「人間の持つ技術は皆プロメテウスの贈物たるを知れ」が暗示するように、本作における火とは「テクノロジー」を指すといっても過言ではないでしょう。

テクノロジーは人々に利便性や発展をもたらしましたが、同時に戦争や環境破壊のように、多様な生命に対して危機的影響を与えていることも事実です。未来において、私たちの身体はテクノロジーとどのような関係を結んでいくのか、本作は小泉がVRと演劇を通じて、人間の生命活動のあり方を問いかける作品となっています。

本作では観客はヘッドマウントディスプレイを装着し、会場内を自由に歩き回ることができます。そして、どこからか聞こえてくる「声」に耳を澄ませます。目の前には会場にいる他の観客の姿が見えますが、そこに抽象的なアニメーションが次々とオーバーラップします。VR表現が生み出す「仮想現実」への没入感覚と、一方で引き戻される「現実」への視点が相互に混じり合い、「他者」の声が語る物語は私たちの見ている「現実」にもう一つの層となって折り重なり、観客の中に新たな物語として芽生えていきます。

開催概要

小泉明郎

縛られたプロメテウス

2021年10月23日(土)、24日(日)

各日 12:00 / 12:30 / 13:00 / 13:30 / 14:00 / 14:30 / 15:00 /
15:30 / 16:00 / 16:30 スタート

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB

上演時間：60分 ※入れ替え制

集合時間：上演の10分前までにスタジオB前に集合

定員：各回15名

上演言語：日本語／英語

対象年齢：13歳以上(ヘッドマウントディスプレイを使用した作品のため)

主催：公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

助成：文化庁 文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

技術協力：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

関連イベント

アーティストトーク

2021年10月24日(日) 13:00～13:40

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオC

登壇：小泉明郎、星野太(美学、表象文化論/東京大学准教授)

※要公演チケット

同時開催イベント

セラム

クリクラボ―移動する教室

2021年9月18日(土)～12月19日(日) 10:00～19:00

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

入場無料

インドネシアのジャカルタを拠点に活動するアーティスト・コレクティブ、セラム(Serrum)による展覧会です。

坂本龍一

ART-ENVIRONMENT-LIFE 2021

2021年10月8日(金)～2022年1月30日(日) 10:00～19:00

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオAほか

入場無料

音楽家の坂本龍一が、アーティストの高谷史郎とのコラボレーションのもと、2013年のYCAM10周年記念祭にYCAMで制作・発表した3作品を展示する展覧会です。

チケット情報

発売日：

8月7日(土) 10:00～

チケット料金：

前売券

一般：2,000円

any会員・特別割引：1,500円

高校生以下：300円

※特別割引：シニア(65歳以上)、障がい

を持つ方及び同行の介護者1名が対象

※電子チケットも利用可能

※前売券は各公演前日の19時まで販売

当日券

一般：2,500円

高校生以下：500円

電話/窓口

山口市文化振興財団チケットインフォメーション

083-920-6111

10:00～19:00

※火曜休館(祝日の場合は翌日)

インターネット

www.ycfcfcp.or.jp

24時間受付

託児サービス

有料。10月16日(土)までにチケットインフォメーションまでお申し込みください。

車イス席

事前にお問い合わせください。